

様式第 1 号(第 6 条関係)

西予福子発第366号
令和 7 年 1 月10日

総務部総務課長
山崎 徳博 様

福祉事務所子育て支援課長 末盛 桂子

会 議 要 録

名 称	令和 6 年度第 2 回西予市子ども・子育て会議	
事 務 局	西予市福祉事務所 子育て支援課	
	電 話 0894-62-6551	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和 6 年 12 月 23 日(月) 9：30～11：15	
開 催 場 所	西予市役所 5 階 大会議室	
出席者	委 員	P T A代表 原井川英一 幼稚園保護者代表（公立・私立）三好真梨 （卯之町幼稚園） 児童館利用者 兵頭芽美（宇和児童館） 小学校長代表 西川浩司（宇和町小学校長） 保育所長代表 尾上千恵（野村保育所長） 幼稚園長代表 小野 輝（三瓶幼稚園長） 認定こども園長代表 山田里香 （うわまち未来こども園長） 児童福祉・事業主代表 柿内誠司（西予総合福祉会） 児童福祉・事業主代表 藤原由美（三瓶福祉会） 学識経験者 中野増美（市代表主任児童委員） 学識経験者 黒田道代 委員 11 名
	その他	
	事務局	福祉事務所長 長野静香 子育て支援課 末盛桂子 信宮佳子 兵頭栄治 播間真理子 岡中栄子 平野穂香 内波姫花 健康づくり推進課 薬師神祥子 学校教育課 梶田寿美子 まなび推進課 三好和義 行政 11 名 総計 22 名

議事内容(要旨)	1. 開 会 2. 委員の紹介 委員の交代について事務局より説明 樋口委員から黒田委員に交代 3. 会長及び副会長の選任について 会 長：藤原由美 副会長：中野増美 4. 会長あいさつ 5. 協議・報告事項 (1) 西予市子育て支援に関する調査【調査結果報告書】について(報告) 会長：質疑を求める。 委員：自由意見に記載されている「問なんとかに記載したが～」とあるが、アンケートをしていないので、内容が分からない。連動させるか、問の内容を記載してほしい。 事務局：わかりやすいようにホームページに出す予定です。自由意見については個人が特定される可能性があるので検討させていただきます。 委員：アンケート結果について、分析等についてはわからない。これを基に計画を作っていくと思いますが、アンケートの内容の分析や傾向など現時点でいいので聞かせてもらいたい。 事務局：傾向としましては、5 年前の結果の傾向とあまり変わっていないところが課題だと思います。改善できる点があれば、改善する方向で検討したい。多様なニーズであるためすべてに対応することは難しいと思うが、ニーズ量に応じて確保策を検討していきたい。また、県人口減少対策のメニューを市で行っているが、今後の方向性についてはすべて実施するのではなく、実施の有無を検討していく必要があると思う。 (2) 人口推計結果について（報告） 会長：質疑を求める。 委員：事業を行っている立場からしたら、この推計よりも現状はもっと厳しい数値が見込めるのではないかなと感じております。宇和地区の影響が多いと思う。今後、地域ごと現状に沿った数値を教えていただければなと思いました。
-----------------	--

(3) 西予市子ども・子育て支援事業計画第2期計画
「量の見込み」について

会長：質疑を求める。

委員：各町または校區別に資料を出してもらえないか。保育所についても校区ごとに実施しているが、来年度以降急激に減少している地区がある。法人として運営の体制を検討していくためにお示しいただきたい。

事務局：アンケート結果を各地区別に出すことはできると思うが、人口推計については地区別に算出することは難しい。どれくらいの期間を要するか不明であるが、お時間をいただき、何らかの形でお示ししたい。

(4) 児童福祉法及び子ども・子育て支援法改正に伴う
新規事業について

会長：質疑を求める。

委員：アンケートにも書かれていたが、事業がいつから始まるのかを周知していただいたらわかりやすいのでお願いしたい。

委員：各事業について、具体的に何年度から実施するのか決まっていれば教えてほしい。

事務局：年度を書いているものについては、西予市では行っていく方向で検討している。今後の方向性のところに検討していきますとか、取り組みますとかという分については、今後の検討という形になる。

委員：事業を始めるとなるとスキルが必要であり人材を探す必要がある。市の方で取り組むのか、委託する方向も視野に入れているのか。

事務局：子育て世帯訪問支援事業では県内6ヶ所ぐらいあったと思う。それぞれ運営は様々なので検討する必要がある。支援拠点育成支援事業などは県内でも1ヶ所ぐらいなのでこれから検討することになる。

(5) 西予市子ども・子育て支援事業計画【構成案】について

会長：質疑を求める。

委員：計画書は配布されているものなのか。

事務局：ホームページで掲載はさせてもらっている。冊子としては事業所等に配布している状況です。

委員：計画など興味がある人や口コミでしかつながらなかったりするので、市役所のロビーにおいておくなど、誰でも見れるような機会があればいいと思います。

委員：映像に翻訳して広報することができればいいのではないかと思います。

事務局：市の方が広報したつもりになっていることが多い。ホームページもリニューアルしていく予定だが、現在の取り組みとしては西予 CATV で情報番組として周知に取り組んでいる。

(6) その他

委員：人口減少の問題については、一つの課で行うことは難しい。お金をかけるばかりではなく、今まで生涯学習課とか社会教育主事などとの連携した事業があったと思う。そういったところで子どもたちが魅力のある大人や会社と出会っていく場を作っていくことが必要だと思う。それにより子どもたちが西予市の魅力に気づき人口減少対策につながるのではと思う。今現在も、そのような連携はあるのか。

事務局：今も各種事業を実施しているが、市単独で事業を実施することは難しい。子どもが生まれて給付金を出す、それだけでは人口が増えるということにはならない。委員のおっしゃるとおり人との関わりや、また帰ってきたいというところが重要だと思う。各課と連携して行っているところもあるが、委員の皆さんも含めて、いろんなところと協力してやっていく必要があると思います。

委員：入籍した時や、出産した時に、こういった施策があるということがあまりわからなかった。後から子育てをするにつれて事業などを知ったこともある。積極的に事業のアピールなどをしていただきたい。

委員：他の課と連携できればいいと思う。担当課だけで完結しない方がいいと思う。呼んでもらったということではないが、例えば市の代表者とか、議員さんだとかそういった人達にも内容を知ってもらおうきっかけになった方がいいと思います。事業を実施するとなると取りこぼされてしまう人が実際にはあると思う。私立幼稚園の

	様に制度化されてないからこそ、取りこぼされたところの受け皿になれることもあると思う。 委員：制度の説明の際に子ども誰でも通園制度の関係について、対象の事業所へ説明会等を開催する予定ですか。 事務局：説明を踏まえて事業所の状況の聞き取りや連携しながら８年度の実施に向けてお願いしたいと考えています。 ６．次回開催予定について 令和７年２月３日（月） ７．閉会
備 考	